



中山中学校便り



令和4年度9月16日(金)

全国学力・学習状況調査 本校のまとめ

今年度行われた全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせいたします。

この調査は、全国の児童生徒（小学校6年生及び中学校3年生）の学力や学習状況を把握・分析することにより、教育の成果と課題を検証し、指導の充実や改善を図ることを目的に4月19日に実施されたものです。

今年度の学力調査は、国語、数学、理科（理科は数年に1度）の3教科で実施され、①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等、②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等を問う問題が出題されました。

学習状況調査については、生活習慣や学習への意欲における、本校生徒の良いところやさらなる向上のために改善していきたいところについてまとめておりますのでご覧ください。

この結果を分析し、授業改善や生活習慣改善に生かしていきたいと考えております。

1 学力調査の結果について

本校の国語の平均正答率は、全国(69.0%)と比べやや上回っていました。数学の平均正答率は、全国(51.4%)と比べやや下回っていました。理科の平均正答率は全国(49.3%)と比べ、やや上回っていました。

今後、各教科の設問における分析を行い、さらなる知識・技能の定着と活用力の向上が図れるよう全教科体制で指導改善に努めてまいります。

【国語】

全国より上回っている

- 自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫して話すこと。
- 文脈に即して漢字を正しく書くこと。
- 表現の技法について理解すること。
- 場面の展開や登場人物の心情の変化などについて描写を基に考えること。
- 場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を理解すること。

◇国語の課題と今後の取り組み

「課題」

- ・事象や行為、心情を表す言葉に注意して読む。
- ・論理の展開に注意して書く。
- ・行書の特徴を理解する。

「今後の取り組み」

- ・身につけさせたい語句の意味を提示し、本文からその語句を探すという課題に取り組みせ、語彙力の向上を図る。
- ・批評文や鑑賞文の学習で、主張と根拠、それをつなぐ解釈（意味づけ）の関連性について吟味させ、より説得力のある文章になるように推敲させていく。
- ・楷書と行書の基本的な違いや特徴について整理する。

【数学】

全国より上回っている	全国より下回っている
<ul style="list-style-type: none"> ○自然数を素数の積で表すこと。 ○データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。 ○事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連立二元一次方程式を解くこと。 ・一次関数の変化の割合の意味を理解すること。 ・目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること。 ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ること。 ・証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解すること。 ・筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を証明すること。

◇**数学の課題と今後の取り組み**

「課題」

- ・日常的な事象を数学的に解釈し、問題の解決方法を数学的に説明する。
- ・与えられた情報から、事象の特徴を的確に捉える。
- ・図形の性質を数学的に表現し、根拠を明確にして論理的に考察し理由を説明する。

「今後の取り組み」

- ・関数の分野では、表・式・グラフを問題解決するためにどう用いたかといった「用い方」を明確にして問題解決の方法を数学的に説明する活動を充実させる。
- ・結論を導くためには何がわかればよいかを明らかにしたり、与えられた条件を整理したり、事柄が成り立つ理由を筋道を立てて考えたりする活動を取り入れる。
- ・ノートやプリントへ考えや問題解決の過程の記入例を示し、ポイントを明確にしながらか学習に取り組みさせる。

【理科】

全国より上回っている	全国より下回っている
<ul style="list-style-type: none"> ○化学変化に関する知識及び技能を活用して、水素の燃焼を分子モデルで表した図を基に化学反応式で表すこと。 ○節足動物の外部形態の観察結果と調べた内容を、生活場所や移動の仕方と関連付けて、体のつくりと働きを分析して解釈すること。 ○考察の妥当性を高めるために、測定値の増やし方について測定する範囲と刻み幅の視点から実験の計画を検討すること。 ○実験の結果が考察の根拠として十分かどうか検討し、必要な実験を指摘して、実験の計画を改善すること。 ○アリの行列のつくり方を探究する場面において視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を分析して解釈し、課題に正対した考察を行うこと。 ○節足動物とアリの外部形態を比較して共通点と相違点を捉え、分類の観点や基準を基に分析して解釈すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観測した気圧と天気図の気圧が異なる理由を考える学習場面において、観測地の標高を空間的に捉え、気圧の概念を空気の柱で説明すること。 ・継続的に記録した空の様子を撮影した画像と百葉箱の観測データを天気図に関連付けて、天気の変化を分析して解釈すること。 ・化学変化に関する知識及び技能とエネルギーを柱とする領域の知識及び技能を関連付け、水素を燃料として使う仕組みの例の全体を働かせる大元として必要なものを分析すること。 ・玄武岩の露頭で化石が観察できるかを問うことで、岩石に関する知識及び技能を活用すること。 ・地層の広がり方について、時間的・空間的な見方を働かせながら、ルートマップと露頭のスケッチを関連付け、地層の傾きを分析して解釈すること。 ・予想や仮説と異なる結果が出る場合について、結果の意味を考え、観察、実験の操作や条件の制御などの探究の方法について検討し、探究の過程の見通しをもつこと。

◇理科の課題と今後の取り組み

「課題」

- ・身に付けた知識、技能を分野や領域を横断して関連づけ、身近な事象を多面的、総合的に捉えること。
- ・課題を解決するまでの探究の過程を見通すこと。
- ・地層の広がりについて、主として時間的・空間的な視点で捉え、地層の傾きの方向を分析して解釈すること。

(・地学分野について、時間的・空間的な視点で捉えて、位置関係を分析して解釈すること。)

「今後の取り組み」

- ・知識・技能と身近な現象とを関連付けて探求する学習場面をくり返し設定する。
- ・常に、学習課題を明確にし、課題を意識して学習に取り組ませていく。
- ・実験の計画を立案する際に予想や仮説と異なる結果が出る場面を想定し、課題を解決するために適切な探求の方法について、話し合い活動を通して確認する場面を設定する。
予想や仮説と異なる結果が出た場合に、変える条件の制御や条件を制御するための操作のどの部分が不十分でなかったのかと具体的な話のポイントを明確にして話し合わせていく。
- ・地層や天体を立体的に捉え、話し合い活動を通して試行錯誤しながら広がりや傾き、位置関係を考えるような学習活動を充実させていく。

2 学習状況（生活習慣や学習への意欲）調査の結果について

<基本的な生活習慣・家庭でのコミュニケーション等>

全国より上回っている	全国より下回っている
<input type="checkbox"/> 朝食を毎日食べている。 <input type="checkbox"/> 毎日同じくらいの時刻に寝ている。 <input type="checkbox"/> 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。	

<自尊意識、規範意識>

全国より上回っている
<input type="checkbox"/> 自分にはよいところがあると思う。 <input type="checkbox"/> 先生は、あなたのよいところを認めてくれている。 <input type="checkbox"/> 将来の夢や目標を持っている。 <input type="checkbox"/> 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。 <input type="checkbox"/> 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。 <input type="checkbox"/> 人が困っているときは、進んで助けている。 <input type="checkbox"/> いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。 <input type="checkbox"/> 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。 <input type="checkbox"/> 人の役に立つ人間になりたい。 <input type="checkbox"/> 学校に行くのが楽しい。 <input type="checkbox"/> 自分と違う意見について考えるのは楽しい。 <input type="checkbox"/> 友達と協力するのは楽しい。

<家庭学習、地域貢献等>

全国より上回っている	全国より下回っている
<input type="checkbox"/> 読書は好きである。 <input type="checkbox"/> 自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがある。 <input type="checkbox"/> 地域の大人に授業や放課後などで勉強やスポーツを教してもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある。 <input type="checkbox"/> 地域の行事に参加している。 <input type="checkbox"/> 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。	<input type="checkbox"/> 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上勉強をする。

<学校生活、授業等>

全国より上回っている	全国より下回っている
<ul style="list-style-type: none">○学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つ。○授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。○授業では、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめている。○授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動をしている。○授業は、自分のあった教え方、教材、学習時間となっている。○学級の生徒との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりしている。○学習した内容について、分かった点やよくわからなかった点を見直し、次の学習につなげている。○学級生活をよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。○学級での話し合いを生かして、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。○道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。	

<国語の授業>

全国より上回っている
<ul style="list-style-type: none">○国語の勉強が好き。○国語の勉強は大切だ。○国語の授業の内容はよく分かる。○国語の授業は将来、社会に出たときに役に立つ。

<数学の授業>

全国より上回っている
<ul style="list-style-type: none">○数学の勉強は好き。○数学の勉強は大切だ。○数学の授業の内容はよく分かる。○数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える。○数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える。○数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。

<理科の授業>

全国より上回っている
<ul style="list-style-type: none">○理科の勉強は大切だ。○理科の授業は将来、社会に出たときに役に立つ。○理科の授業で観察や実験の結果をもとに考察している。○理科の授業で観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返っている。

3 今後の全教科での取り組み

取り組み1：文章を読み返すなど課題をしっかりと把握する力の育成

取り組み2：専門用語を用いて、根拠を明確にして説明する力の育成

取り組み3：考え方が分かるようにノートやプリントに書く場の設定

取り組み4：日常生活からの教材開発と日常生活での活用を考える場面の設定